



「多日から発信！SDGs」
「食べ物の大切さ」

(そばの種まきをふり返って)

東原庁舎東部校3年1組 尾鷲 桃羽

私たち東部校の3年生は、総合的な学習の時間で、「地域を支える人々」について学んでいます。私たちが3年生は、そば作りの体験をすることになりました。私は、そばが大好きで、いつも家族のみんなで食べています。先生からそばを育てる体験のことを聞いたとき「どうやって作るのだろう？」と思いました。私は、細長いめん形しか見たことがなかったからです。私は、早くそばを育てる体験がしたくて、わくわくしました。

9月19日に、納所ふるさとづくり、納所老人会の方が教えてくださいました。私たちは、生まれて初めてそばの種まきをしました。みんなが、それぞれうねに分かれて、丁寧にまいていきました。育っていくようすを観察するのがとても楽しみです。

種まきを教えてくださった田淵さんから「そばが成長するまでは3か月かかるんです」と聞いて、びっくりしました。私が育てているみかんは、植えてから実ができるようになるまで、5年から6年かかるので、「そばはどんどん成長するんだ」とおどろきました。

12月になると、そばの実のしゅうかくと脱くくをします。そして、2月に、そば打ち体験をします。これからも食べ物大切さを学習していきたいと思えます。



連載

野の仏ギャラリー ⑤③

六体地藏菩薩と阿弥陀如来

西多久町大字板屋



斜面に平地地を造成し、六体の地藏菩薩立像と、その中央に阿弥陀如来坐像が安置されています。阿弥陀如来の台正面に三界萬靈、右側面に「寛政九巳年」、左側面に「干月十九日山口村」と刻まれています。地藏菩薩に紀年銘はありませんが、像容などから阿弥陀如来と同時期に制作されたと考えられます。また、写真の側には墓地があり、墓地に至る道筋が選ばれ設置されたと推定されます。地藏菩薩は、向かって左から柄香炉、撥、太鼓、鏡鉞、錫杖・宝珠、経箱、数珠を持ち、台正面には修羅導、人間導、天上導、地獄導、餓鬼導、畜生導と刻まれています。地藏菩薩は、弥勒仏が出現するまでの間、仏法を説き、六道の衆生を救済するとされます。

※三界萬靈は三つの世界にあるすべての霊の意味です
※「寛政九巳年」は西暦1797年です
※六道には「導」の文字が使用されています

多久市郷土資料館長 藤井伸幸

市民文芸

短歌 《麦の芽短歌会 互選》

- ◆ 文明のさきがけ頃より走りしという
長崎電車の揺れは変らざ
川浪 信子
- ◆ ふるさとの徳連の山のかなしさよ
かなしき時は悲しく写れり
梶原恵美子
- ◆ 闇深き宇宙を巡る病む地球を
蘇らすは慈愛と英知
浦野 嘉恵
- ◆ 大谷の成績よりも恋愛の
成功率を僕は上げたい
野崎 隆幸
- ◆ 戦争はせぬの一言だけ守り
あとは各国知性でまじわれ
尾形 節子

俳句 《大石ひろ女選》

- ◆ 太鼓打つ男の背中 秋祭 中嶋 清子
- ◆ 天気図に渦巻二つ 野分来る 富樫 明美
- ◆ 起きぬけの空の青さに 蜻蛉かな 武富 律子
- ◆ ジーゼルの車内で揺るる 小判草 おおやはな 本村 則子
- ◆ ユニホーム洗ふ最後の夏休み 本村 則子

川柳 《多久川柳会 互選》

- ◆ 信号の赤へゆつくりひと呼吸 井上 東子
- ◆ 素敵です友のおしやれを真似したい 田代えみ子
- ◆ 複雑に役割担う詐欺の群れ 中尾 和弘
- ◆ どんな未来見せてくれるか月探査 高塚チカ子
- ◆ 役終えて肩からサロンパスが消え 田代まつこ